

暑い夏が過ぎ、あっという間にコートが欲しい季節になってしまった。私は、秋桜が好きだが、秋の花を楽しむ間もなく、澄んだ空気に冬を感じるこのごろである。

私は刑務所でコミュニケーションを考える会を担当している。秋といえば、「遠足、運動会、栗、柿、ぶどう……」と参加者全員で秋に楽しかった思い出を語ってもらった後に、怒りを感じたときのことを話してもらった。参加者の一人が「何かに怒りを表すのは独り善がりな気がする。自分の気持ちをそのときの思いに任せて言うのは簡単で、自分もそうしてしまっただが、相手や周囲の人のことを考えないといけないと思う」と語り、自分がどれだけ、周囲の人に迷惑をかけてきたかを自ら振り返った。その後、その話を聞いた別の参加者が「自分だって親に迷惑をかけた。もう親はいない。ここを出たら一番に親のお墓参りをしたいと思っている」という話をした。コミュニケーションを考える会は、自分の行動を振り返ることを目的としているわけではなく、むしろこれから、人とうまく付き

合っていくために
自他の感情に気づき、
うまく表現すること
を考えたり、実践し
ていくことを目指し
ている。この会は、
たまたま、自らのこ
れまでの行動を振り
返る機会になってし

まったが、そのときに、振り返りの時間はこれからの希望を考える意味でとても重要な時間であるとあらためて気づき、受刑者は受刑生活の中で、自分のこれまでをどのように振り返ってきたのだろうか、と思った。受刑者一人ひとりの振り返りとこれからの希望を語る時間を、どのように設定できるかも大きな課題である。

今月の特集は「刑務所における作業療法士たちの挑戦」である。2025年6月から実施されている「拘禁刑」を受け、刑務所内が大きく変わろうとしている。西岡論文でも触れているが、「受刑者それぞれの改善更生・再犯防止を一層効果的なものにする」ためにまず、刑務所内の集団編成を大きく変えている。専門職のチーム処遇も始まっている。特集では、刑務所の特徴に合わせて作業療法士たちが工夫してきたこと等を書いていただいた。刑務所における作業療法の開設時から現時点までの歩みと悪戦苦闘の足跡を読み進めながら、やはり作業療法は不変であると感じる。

(香山 明美)

編集後記

編集顧問

上田 敏 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 高橋香代子 竹内さをり
長野 敏宏 中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆 浅野 朝秋 石原 茂和 宇田 薫
内山 量史 沖田 啓子 片岡 聡子 鴨下 賢一
川本愛一郎 岸本 光夫 窪田 静 近藤 国嗣
斉藤 秀之 櫻井 卓郎 澤田 辰徳 柴田八衣子
島崎 寛将 関本 充史 高島 千敬 竹中佐江子
田中 栄一 田平 隆行 辻 哲也 豊田 章宏
白鳥 智子 二神 雅一 堀田 聡子 松田 雅弘
松本 琢磨 松元 義彦 三浦 晃 宮崎 宏興
宮本 礼子 棟近 展行 村井 千賀 山根 寛
吉川ひろみ 和田 直樹 渡辺 誠

(五十音順)

作業療法ジャーナル VOL.59 NO.13 (Dec.)

2025年12月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価2,420円 (本体2,200円+税10%)

年ぎめ予約購読料 33,660円 (30,600円+税10%)

(送料弊社負担、増刊号含む)

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

(担当：高野、森山)

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2025, Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。